

令和7年度 事業報告書
(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

特定非営利活動法人なでしこ会

1 事業の成果

なでしこ共同作業所は年々登録者数が減っています。利用者の高齢化も著しく、登録者9名中6名が65歳以上の高齢者です。高齢化はしていますが、お一人お一人の状態を見ると、自分でバスを予約して通所され、慣れ親しんだ日中活動の場で軽作業をこなし、地域でも自立した生活を営まれています。作業所が介護予防の役割になっています。加齢により生活に支障が出てきた場合には、本人と相談のうえ介護サービスへの移行ができるよう並走していきます。

障害者生活支援センターの運営については、新規ケースや児童に関わる相談が多い印象の一年でした。自宅訪問の件数は定期訪問をしていたケースの入院や介護保険サービス移行などの理由で減少しましたが、来所・電話による相談は増加しました。

親の高齢化により緊急的な介入が必要になったケースも増えてきましたが、地域の支援機関と顔の見える関係を築いてきた成果が発揮され、多機関で世帯を支える体制を構築できています。

児童に関しては学校から地域の支援機関としてつないでもらったケースが多く、信頼関係を築きながら本人の選択の幅を増やせる働きかけを行っています。

地域交流事業では、「中学生だっぴ」と「たけべ部」の活動が評価され、岡山市協働のまちづくり賞やおかやま信用金庫が主催するアワードで賞を受賞しました。

岡山市協働のまちづくり賞では一般市民からのインターネット投票も実施され、「過疎化、少子高齢化の進む地域だからこそ中学生を大切に育みたいという思いを感じます。活動の様子から、中学生の楽しそうな声や笑顔が想像できてうれしくなりました」といったコメントが寄せられました。

2 事業の実施に関する事項

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
1) 障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターⅢ型事業					
なでしこ共同作業所の運営	月～金 10:00～ 15:00	なでしこ共同作業 所	指導員 4 人、ボ ランティ 6 人	障害当事者、関 係者/約 100 人	5,268
2) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業					
特定相談支援事業所の運営	実施なし				
3) 公の施設の運営・管理に関する受託事業					
障害者生活支援センター こら～れの運営	月～金 9:00～17:00	障害者生活支援セ ンター	職員 5 人	障害当事者、関 係者/約 350 人	18,888
4) 障害保健福祉に関する啓発事業					
機関紙「なでしこだより」 の発行	1 回	なでしこ共同作業 所	職員 1 人	会員・関係者/ 約 100 人	12
Facebook による情報発信	通年	なでしこ共同作業 所	職員 1 人	不特定多数	
障がいのある人などへの合 理的配慮の普及と実装を促 進するための調査啓蒙活動	4 回	ゆうあいセンター	職員 1 人	岡山県内の障害 者、事業者、行 政機関	
5) 地域交流に関する事業					
福あつめプロジェクト	建部町文化祭 11/22、23	建部町文化センタ ー	職員 5 人	地域住民 300 人	41
たけべのちっちゃな パソコン教室	5 回	利用者の自宅	職員 1 人	地域住民 延べ 5 人	
たけべ中学生だっぴ	12/3	建部中学校	大人・実行委員 15 人、大学生 9 人	中学生 23 人	
たけべ部	12 回	建部町防災センタ ー／建部町老人福 祉センター	実行委員 6 人 地域住民 1 人	中学生延べ 241 人	
メンタルボランティアさく らの会活動	通年	なでしこ共同作業 所	ボランティア 6 人	障害当事者 30 人	

3 実績報告

1) なでしこ共同作業所の運営

① 利用状況について

項目		R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R7 年度
開所日数		238 日	240 日	240 日	238 日	239 日
登録者数		10 人	10 人	9 人	10 人	9 人
利用延べ人数		2,025 人	1,882 人	1,829 人	1,643 人	1,529 人
一日平均利用人数		8.50 人	7.84 人	7.62 人	6.9 人	6.4 人
平均年齢		65 才	65 才	66 才	65 才	67 才
平均 工賃	賃金	35,982 円	34,109 円	39,378 円	31,630 円	32,744 円
	賞与	17,092 円	20,465 円	16,539 円	19,769 円	14,064 円
	合計	53,074 円	54,574 円	55,917 円	51,399 円	46,808 円

② 作業内容について

作業内容	取引先
アルミ缶回収リサイクル処理作業	アルテミラ・テクノソリューションズ株式会社
ペットボトル回収リサイクル処理作業	株式会社カロスアウラ
資源回収団体報奨金	岡山市
草とり・落ち葉かき等の野外作業	友愛の丘
箸入れ・風呂敷折り等の作業	昭和製箸
手芸品・さをり織りの製作と販売	たけべ八幡温泉委託販売 老人センター委託販売 はっぼね桜祭り たけべマルシェ 建部町文化祭（さをり体験会）

③ 作業以外の行事等について

- ・ 大掃除&忘年会
- ・ 初詣&食事会

④ 支援について

- ・ メンタルボランティアさくらの会による支援：延べ 76 人

2) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

実施なし

3) 障害者生活支援センターの運営・管理に関する受託事業

① 施設の運営・利用状況

内 容	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
登録者数	17人	17人	17人	19人	15人
関わり人数(実)	58人	64人	76人	76人	81人
開館日数	242日	243日	243日	243日	242日
利用人数(延)	2,556人	2,250人	2,069人	1,886人	1,687人
1日平均利用者数	10.5人	10.3人	8.5人	7.8人	7.0人
風呂の利用許可及び 利用料の収納	3回 (実1人)	5回 (実1人)	17回 (実2人)	57回 (実3人)	26回 (実4人)

② 建物管理について

● 建物に関する不具合と対応

施設の区分	損傷、磨耗、不具合の状況	対応状況
床材張替え 1階：給湯室 2階：廊下、静養室、相談室 階段	経年劣化による剥離	岡山市負担による張替え工事を実施

● 避難訓練(令和7年9月24日・令和8年3月31日)

③ 相談の状況(件)

内容	R6年度	R7年度	内容	R6年度	R7年度
訪問	332	283	メール	6	34
来所相談	372	433	個別支援会議	18	19
同行	80	130	関係機関	318	434
電話・FAX	625	709	時間外対応	16	6

④ 相談内容(件)

内容	R6年度	R7年度	内容	R6年度	R7年度
福祉サービス	301	373	年金・手当・生活保護	67	35
障害・症状	113	140	金銭・生活	506	583
健康・医療	509	660	就労	143	112
不安解消	512	682	社会参加・余暇	239	244
保育・教育	4	5	権利擁護	6	10
家族・人間関係	222	237	その他	0	0

⑤ 基礎的事業（述べ参加人数）

利用者活動	R6 年度	R7 年度
ボランティア活動（月 1 回）	7	13
ミニ交流会（月 1 回）	21	49
お楽しみ会（月 1 回）	65	54
ミニ作業（回覧板・さをり織り）	37	32
オープンキッチン（自炊練習）	1	2
カラオケ	0	0
大掃除・忘年会	10	6

※R7年度8月のミニ交流会から、岡山市社会福祉協議会 建部分室の傾聴ボランティア・カナリアの会に依頼し、延べ18名のボランティアの協力を得られた。

⑥ ボランティアの養成及び育成・組織育成（件）

内 容	R6 年度	R7 年度
家族会支援	1	9
ボランティア団体支援	0	0
教育機関との連携	6	2
サービス向上のための研修等	22	21
広報・啓発	5	10
地域交流に関わる取組	54	53
協議会・運営会議等	67	54
吉備中央町関係	10	6
人材育成	1	0
他事業所への指導等	1	0

4) 障害保健福祉に関する啓発事業

① 法人会員数（人）

種 別	R5 年度	R6 年度	R7 年度
正会員	20	17	17
賛助会員	44	37	33
合計	64	54	50

② 機関紙「なでしこだより」の発送

号数	発行日	掲載内容
43	令和7年8月20日	総会報告

③ 障がいのある人への合理的配慮の普及と実装を促進するための調査啓蒙活動に参加

■実 施	4回参加（全5回）
■参加人数	6人（県内の当事者団体、支援組織等の代表・担当者）
■目 的	2024年4月からすべての事業者を対象に合理的配慮の提供が義務化されたが、岡山県内では十分に認知と実践が進んでいるとは言えない状況にある。現状を把握したうえで認知向上と実践を促進する。
■内 容	令和6年～令和7年の2ヶ年計画で公益財団法人橋本財団「2025年度福祉助成金」を受け、初年度は障害当事者、事業者、自治体にアンケートやヒアリング調査を実施し、県内の合理的配慮に関する現状把握を行った。
■成 果	【アンケート回答数】 県内の障害当事者または保護者…38名 県内の事業者……………12事業者 県・県内市町村……………17自治体 「障害者差別解消法に関するアンケート」報告書としてとりまとめ、岡山NPOセンターのホームページで公開中

5) 地域交流に関する事業

福あつめプロジェクト

■日 時	建部町文化祭（11月22日・23日）
■内 容	地域住民、介護・福祉サービス利用者にカードを配り「最近あった良いこと（福）」を記入してもらい、建部町文化祭で展示した。
■結 果	建部町地域包括連携会議を中心に参加を募り、合わせて合計250枚を展示した。

たけべのちっちゃなパソコン教室

■実 施	5回
■参加人数	5人（実2人）
■内 容	Microsoft Word・Excel、パソコン設定
■目 的	地域活動団体の事務担当者のパソコン操作を支援する。事務に時間や労力をとられて積極的な地域活動ができない、新たな取り組みに挑戦する余裕がないといった課題を解決する。
■成 果	Webサービスの登録や二段階認証についての相談が多かった。

第9回 たけべ中学生だっぴ

■実行委員会	5回
■月 日	令和6年12月3日（水）
■場 所	建部中学校 体育館
■参加人数	建部中学校2年生…23人 大学生…9人 大人・実行委員会…15人
■目 的	中学生に対し、多様な価値観をもつ大人と交流する機会を提供する。
■成 果	中学生からは「みんなが自分の話を聞いてくれて良かった」「自分では思いつかないような意見を聞いて、自分の意見が深まった」といった感想が寄せられた。

たけべ部

■実施回数	定例たけべ部10回、大人たけべ部9回
■場 所	建部町防災センター、建部町老人福祉センター
■参加人数	建部中学生 延べ241人（全学年対象）
■目 的・ 内 容	中学生が今の自分自身や未来の自分、未来の地域について考え、行動できる場を目指す。月に一度ペースで開催し、中学生と地域の大人が交流しながら活動内容を考えた。 たけべマルシェで「たけべっこクレープ屋さん」として出店するため、打ち合わせと試作を繰り返した。本番では、約27,000円の収益をあげ、打ち上げや地域イベントへの寄付をすることができた。
■成 果	イベント出店に向けては中学生にリーダーや班長などの役割を担ってもらうことで、より主体的に計画・実行することができた。参加人数も前年の延べ163人から241人に増加し、1～2年生の参加も多かった。 ● 「第10回おかやま協働のまちづくり賞」入賞 ● 「おかやましんきん SDGs アワード 2025」 社会貢献団体・一般個人部門 優秀賞

メンタルボランティアさくらの会

■参加者	実6人
■活 動	なでしこ共同作業所での作業支援…延べ：76人